

2023年7月16日 主日礼拝

司 会 ①熊谷兄 ②佐藤兄 ③浜田兄(福原姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌229番「アメージンググレイス」
(私たちは御国のよつぎ)(愛する友のために)
三つの愛

聖 書 ①② エペソ人への手紙2章1～10節 (P302)
③ ヨハネによる福音書3章16節 (P139)

音 楽 川田直輝兄メモリアル(V)・海老名合唱団(③のみ)

メッセージ ①② 「救いのチャンス」 久保田豊副牧師
③ 「再会の楽しみと備え」 レイモンド・ムーイ師(通訳・森屋師)

賛 美 「神ともにいまして」(賛美歌405) 献金
頌 栄 「シャローム(平安あれ)」 アーメン
祝 禱 大川従道主任牧師

「神は、すべての人が救われて、
真理を悟るに至ることを望んでおられる。」

(第一テモテニの四)

【大和ニュース】

☆本日は、川田直輝さんの召天記念礼拝に多くの方々のご出席を心から感謝いたします。

特に指揮者の和田茂士先生・海老名市民オペラ合唱団の皆様にご出席を心から御礼申し上げます。(天国にて、彼も共に喜び、賛美しています！)

☆第3礼拝に、マレーシアからレイモンド・ムーイ牧師をお迎えでき感謝です。

- ・ 本日、バルナバ会、ヨシュア会、ルツ会、SS 教師会、ZOOM モーセ会、JPLUS 礼拝。
- ・ 第四礼拝の説教は船山伝道師「最良の回り道」。(18:00)

- ・ 今週も祈禱会を大切に！水夜と木朝。説教は森屋副牧師、証は山口恵理也兄。
- ・ 土曜日は華やか。アブラハム会駐車場清掃。CBS プラス。会堂掃除。聖歌隊練習。
- * 来週の日曜11時礼拝には、韓国から百人の聖歌隊とオーケストラが来られます。
- * 主日礼拝人数 ①97人(222) ②214人(207) ③237人(305) ④23人=1305人
定例祈禱会 水曜63人(190) 木曜126人(82)=461人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

作家の深田祐介さんが、『文芸春秋』に、「かくして私は仏教を捨てた」という一文を書いていました。彼は、東京のある寺院の檀家総代をしていた人ですが、諸々の出来事の中で、絶望を感じ、少々センセーショナルな文章を書いたようです。彼は、後日キリスト教で洗礼を受け、クリスチャンになったのです。

彼は、当時5歳だった末の妹を戦争の開戦直後にジフテリアで亡くしますが、どうしても、天国でその妹に会いたいという一心で入信の決断をしたのです。

私大川の親友は、茅ヶ崎市の自宅近くの通学路で、小学1年の息子がトラックの下敷になり死亡。両親とも気が狂ってしまった、かのように苦しみ叫び泣き、もう一生笑わない、笑えない日々を過しました。

私自身も、5才のとき、1才の妹が火ダルマになってヤケド死を体験し、ずい分苦しみました。しかし、クリスチャンになってから、この苦しみから解放されただけでなく、天国での再会の信仰を持ち、希望と喜びを味わっています。

大和カルバリーチャペルの納骨堂には、『我らの国籍は天に在り』と刻まれており、納められている骨は300人、なんと予約している人は75人……。

私の大好きなヨハン・セバスティアン・バッハは、20人の子どもの10人は成人せず死亡。最初の妻と両親の死も10歳の頃経験している。バッハは子煩悩であったといわれているので、どれほど苦しんだであろう。

しかしながら、彼の信仰は、キリストの十字架と復活から流れる「永遠の命」の世界を受けとめており、死者との再会を夢みて生きぬいた、と言える。

まさに、『この苦しみのむこうに、光を見て満足する』(旧約聖書イザヤ書53章11節)を土台に生き抜いたといえる。

角度を変えて思考するなら、愛する者との再会を信じて生きることが、最も大切な生き方であろう。「人生は出会いで決まる」、勿論「決断」で決定する。

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。」(ヨハネ福音書11章25節)。お互い、天を見上げて歩みましょう。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒19章~23章 Bコース:詩篇19篇~37篇